

例2) 自分と家族の身体の不自由についてのお詫び

①『光の主神様』に対するお詫びと祈り

5 『大宇宙の総ての総ての創造主 大元の光の主神様』、私の母方の祖父は、ガンで左目と顔の半分を失い、祖母も大腸がんで苦しみ、そして、私は 10年以上左目に違和感を覚え、苦しんでおります。

私は肉体を戴いておりますので、前世を思い出すことが出来ませんが、きっと、他人様をひどい目に遭わせて来たのでしょうかね。

10 真に申し訳ございません。どうかお許し下さい。

私のこれからの人生を、お与え戴きました肉体を大切に使用させていただきまして、『真理＝神理』をこの地に遍く弘めさせて戴くために、『光の主神様』の手足として、沢山にお使いを賜れますよう謹みてお願いを申し上げます。

15

② 憑霊に対するお詫び

私及び先祖家族に憑いていらっしゃる皆様、私達は肉体がありますので、前世を思い出す事が出来ませんが、私の母方の祖父が、ガンで左目と顔の半分を失い、祖母は大腸がんで苦しみ、そして、私も 10年以上左目に違和感を覚え、苦しんできたという事は、きっと私及び先祖家族が、前世で皆様の事をひどい目に遭わせてきたのでしょうかね。

20 誠に申し訳ございません。どうかお許し下さい。

そのため、皆様に長い間、大変辛い想いをさせてしまいました事、心よりお詫び申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。

皆様が、一日も早く『光の主神様』にお許しを戴けて、天国で『真理＝神理』を世界に遍く弘めさせて戴くために、『光の主神様』の手足として、沢山にお使い賜れる清き高き幸せな魂霊として、昇華のお許しを戴けますよう、謹みてお祈り申し上げます。

③『光の主神様』に対して憑霊の救われを祈る

30 『大宇宙の総ての総ての創造主 大元の光の主神様』、どうか私及び先祖家族に憑いていらっしゃる方々の罪をお許し下さい。

この方々に、尊きみ光と改めて幽界での修行の場をお与え下さい。

そして一日も早く、一刻も早く『光の主神様』にお許しを戴けて、天国で『真理＝神理』を世界に遍く弘めさせて戴くために、『光の主神様』の手足として、沢山にお使い賜れる、清き高き幸せな魂霊として、昇華のお許しを賜れますよう、謹みてお願いを申し上げます。

35